



第8回ESIBLA教育フォーラム

開催概要

2024年5月18日（土）
オンライン（Zoom）開催

開催時期：年 **2** 回開催（夏・冬）参加想定：**200**人～**300**人以上

参加型のワークショップや発表を基本とする実践的なセミナーです。
英語4技能の総合力と探究力を伸ばす最先端の指導実践が効率よく学べます。

Opening Session	毎回、著名人、キーパーソンによる基調講演やパネルディスカッションを行います。
Educational Session	学校、民間教育現場からのリアルな事例発表と議論を行う分科会。
Exhibitor Presentation	教育改革に向けた新たなソリューションを提案する企業・団体の展示やプレゼンテーションの機会を設けます。
Conference Social	産学の垣根を越えた交流を推進する懇親会を実施します。 <英語4技能・探究学習推進協会会員+教職員 限定> ※オンライン開催では実施しない場合がございます。

開催者



1. Zoomミーティングを準備
2. 当日10時にチケット購入者へ視聴情報を送付

登壇者



3. 開催者から「共同ホスト」として登録
4. 当日は登壇するZoomミーティングへアクセスし、登壇時刻に自身のPCからプレゼンテーション

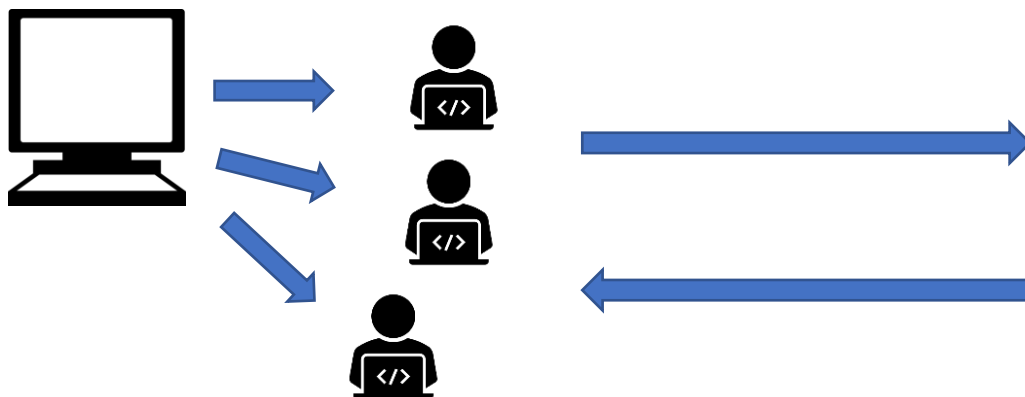
※共同ホストは複数登録可能
※ウェビナーの内容によって、登壇者を「ホスト」へ登録することも可能です

視聴者



5. 視聴情報を確認後、視聴したいZoomミーティングへアクセス（ブラウザ/アプリから）
6. 各ウェビナーを視聴する

1. 開催者から視聴者へZoom視聴情報を通知



2. 登壇者様は、PCからミーティングへ参加（配信）



当日の午前10時、チケット購入者に全てのプログラムの視聴情報が送付されます。

最初のプログラム（基調講演）が終了後、セッション1への移動案内をESIBLA事務局より視聴者へ出します。視聴者は案内に従って、興味のあるセッションのZoomミーティングへアクセスします。

貴社セッションの回開始時刻になったら、登壇者様はセッションを開始してください。

※当日を迎える前に、各登壇者様とESIBLA事務局のスタッフで最低1回ミーティングをオンラインで開催し、当日のシミュレーションを行います。

※セッション2のプログラムについても同様に、セッション1終了時にESIBLA事務局より視聴者へアナウンスを出します

◆タイトル

円安の今こそ考える：日本から始める海外大学のメリットを解説！

◆開催概要

海外留学に行きたい！日本という「Comfort Zone」を出て新しい土地で新たな経験をするには、学生にとってかけがえない経験になるでしょう。しかし、現在の円安の状況により、金銭的な不安がよく聞かれます。この講演では、日本から始めるアメリカの大学という新たな選択肢をご紹介します。また、海外留学との違いや、卒業後の就職状況を含めたメリットとデメリットについてもお伝えします。現在、日本校で学ぶ実際の学生の声をお聞きいただけます。

- 1.日本で始めるアメリカの大学についての概要
- 2.卒業後の就職状況についての考察
- 3.在校生・留学中の学生の声から学ぶ
- 4.質疑応答

◆開催日時

2024年5月18日（土）13：00～15:00（入退出自由）

◆開催形態

オンライン（Zoom）

◆お申し込み方法

下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/JDRc3x7g5rwoX59P7>

参加費・視聴料は無料です。

ご登録いただきますと、電子メールにてZoomのアクセスコード、URLなどをお知らせします。

◆プログラム

13 : 00 ～ 13 : 45	セッション1
	アメリカ大学の日本校という選択 加藤智恵 テンプル大学ジャパンキャンパス 上級副学長 兼務 エンロールメントマネージメント担当副学長
14 : 00 ～ 14 : 45	セッション2
	アメリカ大学の日本校に在籍する大学生のリアルな声 テンプル大学ジャパンキャンパスの在校生

登壇者

加藤智恵

テンプル大学ジャパンキャンパス

上級副学長 兼務 エンrollmentマネジメント担当副学長



セッション1

セッション2

講演概要

「アメリカ大学の日本校とはどのような大学？」という疑問に、日本校のメリット・デメリットを両側面からお伝えします。卒業後の就職状況も就職部よりお話します。

プロフィール

1987年聖心女子大学卒業。1993年米国の大学にて英語教授法帰国後（財）日本英語検定協会（英検）に入社、累計志願者140万人を超える児童英検（現在の「英検Jr」）の開発メンバーとしてテストの制作を行う。

1997年からテンプル大学ジャパンキャンパス（TUJ）の広報部に勤務。2003年から学長室渉外担当ディレクターとなり、外国大学日本校の地位改善とステータス向上のため、日本政府および米国大使館等関係機関との交渉役を務める。2005年2月、文部科学省から外国大学日本校として正式に「指定」を受けるに至る。

2008年よりエンrollment担当副学長に就任。学生募集、アドミッションオフィス、学生サービス、就職部、カウンセリング・オフィス、広報・マーケティングサポート部他の分野を広く統括。2014年より前役職に加え、TUJ上級副学長に任命される。加藤のリーダーシップのもと、TUJの学部課程は1999年の500名から2024年現在2200名に成長し、米国籍を中心とする外国人学生が約6割を占める国際的な外国大学の日本校として躍進を続ける。

登壇者

セッション1

セッション2

真坂美葉子・西村知紗 他（テンプル大学在學生）

講演概要

バックグラウンドが様々な學生が、「なぜ、留学ではなく、アメリカの大学の日本校」を進学先として選択をしたのか？ 専攻学科や、大学生活で感じたことなどを學生視点でお伝えします。

プロフィール

玉川学園高等部 国際バカロレア（IB）クラス卒業
コミュニケーション学科



埼玉県立草加南高等学校卒業
国際関係学科



高等学校を卒業後、テンプル大学に入学。アメリカ大学日本校という進路をなぜ選択したか、毎日どのような大学生活を送っているか、大学で学んでいること、成長できたこと。アメリカの大学に入学して感じたことを、學生の視点でお伝えします。お会いできるのを楽しみにしています。

～ご参考～

これまでのESIBLA教育フォーラム

回次	テーマ	開催日	会場
第1回	英語4技能の授業実践	2019年8月31日	JASSOプラザ平成
第2回	探究学習の最前線	2019年12月22日	聖徳学園中学・高等学校
第3回	With/After コロナ時代の探究学習	2020年8月22日	オンライン開催
第4回	2021年の英語授業実践	2021年1月9日	オンライン開催
第5回	ニューノーマルのPBL ～ポストコロナにおける課題探究型学習～	2021年10月16日	オンライン開催
第6回	2022年度・新学習指導要領実施で英語授業はどう変わる？	2022年1月29日	オンライン開催
第7回	AI時代の英語教育のあり方	2023年6月24日	オンライン開催

◆タイトル

AI時代の英語教育のあり方

◆開催概要

AI（人工知能）の進化は、さまざまところで革新をもたらしています。教育分野もまた、革新の波が押し寄せており、特に英語教育においては大きな変化が訪れています。

今回、ESIBLA教育フォーラムでは、高校の英語担当教員をはじめ、学校関係者や教育関係者を対象に「AI時代の英語教育のあり方」というテーマでセミナーを開催することにいたしました。

本セミナーでは、下記のトピックを中心に実施いたします。

- AIの最新事情（ChatGPTなど）
- 「AI×英語教育」のメリット、デメリット
- 「AI×英語教育」の事例や最新の取り組み
- 「AI×英語教育」の課題
- 「AI×英語教育」の今後について

◆開催日時

2023年6月24日（土）13：00～

◆開催形態

オンライン（Zoom）

◆お申し込み方法

参加費・視聴料は無料です。

電子メールにてZoomのアクセスコード、URLなどをお知らせします。

◆プログラム

13 : 00 ～ 13 : 45	基調講演
	新しい時代に対応した英語の教え方 安河内 哲也 先生 一般財団法人実用英語推進機構代表理事、東進ハイスクール・東進ビジネススクール 英語科講師
14 : 00 ～ 14 : 45	セッション1
	AIと英語学習の融合：教師の支援と学習者のやる気づけ "Integration of AI in English Language Learning: Empowering Teachers and Motivating Learners" 布村 奈緒子 先生 ドルトン東京学園中部・高等部 高等部副校長・ドルトンコーディネーター・英語科
15 : 00 ～ 15 : 45	セッション2
	生成AI時代の英語教育：現場の教師が持つべきスキルとマインドとは？ 江藤 由布 先生 一般社団法人オーガニックラーニング 代表理事、大谷中学高等学校 学習指導部長（京都）

新しい時代に対応した英語の教え方

登壇者

安河内 哲也 先生

講演概要

教師でなく、生徒の頭と口が動く英語教育をいかに実践するのか、そのヒントについてお伝えしたいと思います。特にこれから必要になってくると考えられるスピーキング力をいかにして身に付けるか、そこに焦点を置いてお話ししたいと思います。これからの、このAIが人間の単純労働を代替していく時代には、外国語学習の成果として求められるスキルも大きく変わってくるだろうと予測されます。そのような大きな展望を踏まえた上で、私たちがどのように英語を教えていけば良いのか、共に考えるきっかけになればと思っています。

プロフィール



安河内 哲也（やすこうち てつや）

1967年 福岡県北九州市生まれ、遠賀郡岡垣町育ち。上智大学外国語学部英語学科卒。

東進ハイスクール・東進ビジネススクールのネットワーク、各種教育関連機関での講演活動を通じて実用英語教育の普及活動をしている。

また、文部科学省の審議会において委員を務めた。言語活動型英語授業を促進するために、各所へのスピーキングテスト、4技能試験の導入にむけて活動中。

話せる英語、使える英語を教えることを重視している。子供から大人まで、誰にでもわかるよう難しい用語を使わずに、英語を楽しく教えることで定評がある。

予備校や中学・高校での講演の他、大学での特別講義や、大手メーカーや金融機関でのグローバル化研修、教育委員会主催の教員研修事業の講師も務めている。

基調講演

セッション1

セッション2

一般社団法人 英語 4 技能 ・ 探究学習推進協会

〒108-0014
東京都港区芝5丁目14-13 アセンド三田7階
TEL: 03-4405-3630
FAX: 03-5432-9907
MAIL: info@esibla.or.jp

- ▷ Change Maker Awards
<https://esibla.or.jp/change-maker-awards/>
- ▷ ESIBLA教育フォーラム
<https://esibla.or.jp/esibla-forum/>
- ▷ 一般社団法人英語 4 技能 ・ 探究学習推進協会HP
<https://esibla.or.jp/>
- ▷ 探究学習白書
<https://esibla.or.jp/inquiry-based-learning-white-paper/>

お気軽にお問い合わせください。